

あなたの合格を全力でサポートします！

1級管工事 施工管理技士

一次コース

一次直前コース



女性を選ぶ資格スクール

No.1



建築のプロがおすすめする建築士講座

No.1



大学生を選ぶ資格スクール

No.1



TOP INTERVIEW

株式会社建築資料研究社は、
1969年に建設関連の出版事業を創業して以来、
多くの皆さまにご愛顧いただき、2024年8月に創立55周年を迎えます。
創業者／馬場瑛八郎は、日本大学 工学部 建築学科を卒業後、
設計事務所に勤めながらも苦勞して一級建築士を取得し、
『これから建築士取得を目指す方々に同じ苦勞をさせたくない』その思いから
資格受験予備校「日本建設実務学院」が設立されました。(現在の日建学院)
私も大学の建築学科を卒業後、建設会社で現場管理の仕事をするかたわら
日建学院に通い一級建築士、一級建築施工管理技士を取得しました。
仕事を続けながらの受験勉強はけっして楽なことではありません。
仕事と勉強の両立はつらいことも多く、学習の継続は大変です。
しかし、それを乗り越え合格できる環境が日建学院にはあります。

HISTORY

- 2005年 登録講習機関として許可を受け「宅建登録講習」を開講
- 2004年 実施協力機関として「監理技術者テレビ講習」を開講
- 2002年 Webオンライン学習システム「ニッケンbbスクール」スタート
- 1995年 (社)全国建設業協会と提携し(株)建設産業振興センター設立に参加
- 1990年 インテリア雑誌「コンフォルト」創刊
- 1989年 日建学院100校目開校
- 1986年 「1級/2級土木・造園・管工事、測量士補講座」開講
- 1985年 「1級/2級建築施工管理技士講座」開講
- 1983年 シリーズ書籍「建築設計資料」創刊
- 1982年 建築専門学校「東京日建工科専門学校」開校
- 1980年 日建学院60校目開校
- 1979年 「日建新聞」創刊
- 1978年 「土地家屋調査士講座」開講
「宅地建物取引主任者(現取引士)」開講
- 1977年 日建学院 映像講座制作の為、本社内にスタジオ・編集室設置
基本建築基準法関係法令集(オレンジ本)創刊
- 1976年 日建学院開設 東京校(1・2級建築士学科・設計コース)
- 1975年 雑誌「住宅建築」創刊
- 1973年 カセットによる建築士養成講座発売
- 1972年 コンピューターによる建築構造計算システムを開発
雑誌「庭」・積算ポケット手帳を創刊
- 1970年 原図資料集発売
- 1969年 株式会社建築資料研究社創立

日建学院で学び合格できた喜びを一人でも多くの方々に経験していただきたい。

この業界のトップランナーとして駆け続けたこれまでとともに、

創業者の想いを受け継ぎ、これからも社会に貢献できる企業であり続けるため、

頑張る人々を全力でサポートし続けます。



代表取締役 馬場 栄一

1992年 3月 早稲田大学 理工学部 建築学科 卒業

1992年 4月 大成建設株式会社東京支店 入社
(現場管理)東京:恵比寿ガーデンプレイス建築工事ほか
大阪:泉大津ポートタワー-建築工事ほか

*在職中に一級建築士/一級建築施工管理技士 取得(日建学院 通学)

2000年 1月 株式会社建築資料研究社 入社

2000年 4月 住宅事業本部 本部長

2002年 4月 学院本部 本部長

2007年 5月 営業本部 取締役

2007年 7月 代表取締役社長 就任
現在に至る



日建学院の母体である建築資料研究社は、建設業界向けの資料集や書籍、専門誌などを50年以上発行している出版社。建設業に携わる事業所には、必ずそれらの市販書が置かれているはず。

2024年 創立55周年

2021年

日建学院建築士講座が日本マーケティングリサーチサーチ機構の調査により10部門でNo.1を獲得

2020年

日建学院が日本マーケティングリサーチ機構の調査により3部門でNo.1を獲得

2019年 創立50周年

2015年 日建学院開校 40周年

2014年 8月に創立45周年となる

2012年

スマートフォン・タブレットでも講義視聴が可能となる配信システムを構築

2011年

個別講座を扱う日建学院公認スクールを全国に展開
求職者支援訓練、都道府県委託訓練を全国で展開

2010年

厚生労働省雇用対策緊急人材育成支援事業による「基金訓練」建築・不動産・パソコン簿記養成講座を開始

2009年

建築士や土木講座を扱う日建学院認定校を展開
(社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPDS)認定講習を開始

2008年

日建学院教室内「個別ブース」学習スタイルスタート

2006年

国土交通大臣の登録をうけた実施機関として「宅建実務講習」を開講
1・2級建築士、宅建、個別指導システムスタート

なぜ日建学院は「映像学習」なのか？

生講師による講義からスタートした日建学院。

より高い成果、効率的な学習方法を求めて試行錯誤するなかで、

「映像学習」の講義スタイルという選択肢が現れました。

試験的導入の結果、合格率の高い「映像学習」を選択。

歴然の差の前に、「映像学習」の効果を突きつけられたこと。

映像一筋で比類ない実績を出し続ける日建学院の原点です。



全員合格を目指すなか、

「欠席者も含め、全員合格して欲しい」

という思いから補講VTRを制作。

その後、全国展開するなかで、各校の講師のレベル較差が合格率の差となって表れました。

そこで、講師のレベル較差をなくし安定した高い合格率を求め「映像学習」の講義スタイルにする教室が増えていきます。

Answer

生講師の教室と「映像学習」の教室の受講生を比較すると、

「合格率が平均的に10%高い実績！」

合格にこだわるため、受講生の声と合格実績から「映像学習」を選択。

全国一律の圧倒的な講義力で今に至ります。

1998年～

デジタル映像移行



クオリティを
追求し続ける

1989年～

映像学習



合格にこだわる選択
「映像学習」の講義スタイルへ

「つまずきやすい」が
「わかる」に変わる。

文章ではイメージしにくい内容などは、実写映像、コンピュータグラフィック、アニメーションなど、理解するために最適な表現方法で映像化。質問の多い箇所やテストで正答率の低い箇所は「よりわかりやすい」映像表現を求めて、毎年、進化を続けています。「つまずきやすい」を「わかる」に変えるまで工夫を重ねた映像講義だから「よくわかる」「疑問が残らない」と好評です。

映像の学習効果は 脳科学でも立証。

人間の脳には日々、膨大な情報が入ってきます。これを脳の海馬という器官が取舍選択し、海馬が選んだ情報だけが脳に送られ、記憶として保管されるのです。脳科学の世界では、文字や聴覚だけの情報に比べ、映像情報のほうが海馬の記憶に残りやすいと言われています。試験の本番中に「講義で見た映像がよみがえった」。毎年、多くの受講生から聞く声です。

映像学習の特長

Ⅰ

視覚と聴覚の2つの感覚機能を同時に促すので、理解力と記憶力に優れている。

※人間は、多くの感覚器官が刺激を受けるほどに物事を理解・記憶しやすいという生理的特徴があります。

映像学習の特長

Ⅱ

残像現象の効果により、記憶した知識をよみがえらせ、使わせる想起度が高い。

※想起度とは、過去に学習したことや出来事を思い出す割合を示します。

映像学習の特長

Ⅲ

適切な講義時間の配分のもとに制作されているため、時間対効果が高い。

※講師の調子や質問によって時間配分が変わり、重要事項が抜ける、駆け足になるようなことはありません。

映像学習の特長

Ⅳ

フレーム効果の特徴によって、講義の内容に、自然に集中することができる。

※フレームの中にある景色には視線が自然に固定される効果があるため、しっかりと観ることができます。

映像学習の特長

Ⅴ

講師や制作関係者が創意工夫をこらし、質の高いベストな講義を生み出している。

※生講師の講義は、講師一人ひとりのレベルや質、その日の調子などに左右されます。

日建学院の「映像」の質

ここが違う!!

よそ

他の映像



講義の定点撮影

とは違う!

日建学院の映像



完全オリジナル撮影・編集

一般的な映像講義とは、教室の後ろから定点撮影した映像を編集したものです。

日建学院の高合格率を支える最高品質を追求する映像は、

最新鋭の設備と技術を誇る自社スタジオで、完全オリジナル撮影・編集。

講義時間の数倍の時間をかけ、CGやアニメーション等も盛り込んだ、頭と心に残る映像だから違いが出ます。



講義映像ができるまで

STEP.1 会議

合格に直結する映像をめざし
クオリティをとことん追求

最新の試験情報、業界動向を徹底的にチェック&精査し、試験に必要な知識をいかにわかりやすく、覚えやすく盛り込むかを相談します。講師だけでなく教材制作者や試験分析官など、各分野のプロが意見を出し合い、内容を細部まで緻密に丁寧に決めていきます。



STEP.2 撮影

各分野のカリスマ講師が
全受講生に最高の講義を提供

それぞれの分野を、一番得意とする講師が担当。内容はもちろん映像としての質にもこだわり、実際の講義の数倍もの時間をかけて撮影します。映像講義で想像しがちな、どこかで行われた講義を撮影しておいて、他の場所でも流すというものではありません！



STEP.3 編集

CGやアニメ等も盛り込みながら
頭と心に残る映像への仕上げ

講師が解説するだけでなく、現場の映像、イラストやCG、アニメーションなどを多用。一番わかりやすい手法を採り入れながら編集します。最新機器を完備した自社のスタジオ&編集室での一貫制作だからこだわり放題。最新情報の追加なども自由自在です。



STEP.4 完成



科学に基づく 日建式学習システム

必死に頑張ることは、もちろん大切。その頑張りを確実に成果に結びつけるためのシステムも、同じくらい重要です。

脳の仕組みにこだわって、スムーズに学び、しっかり記憶する。

自然な流れでくり返される学習システムで理解を促し、知識を定着させます。

脳は覚えるより、忘れるほうが得意!?

- 生きていくために必要な情報
- 合格するために必要な情報
- その他の情報

様々な情報

情報は目や耳などから
送り込まれる

情報を 忘れる

海馬でふるい落とされた
その他の情報は
消去される

情報を 記憶する

海馬で選択された情報を
大脳で保管する

情報を 選択する

海馬では生きるために
必要な情報とその他の
情報をふるい分ける

●脳における記憶の分業システム

情報	脳には膨大な 情報が入ってくる	海馬	情報を取捨選択して、 大脳に送る	大脳	海馬から送られた 情報を保管する
----	--------------------	----	---------------------	----	---------------------

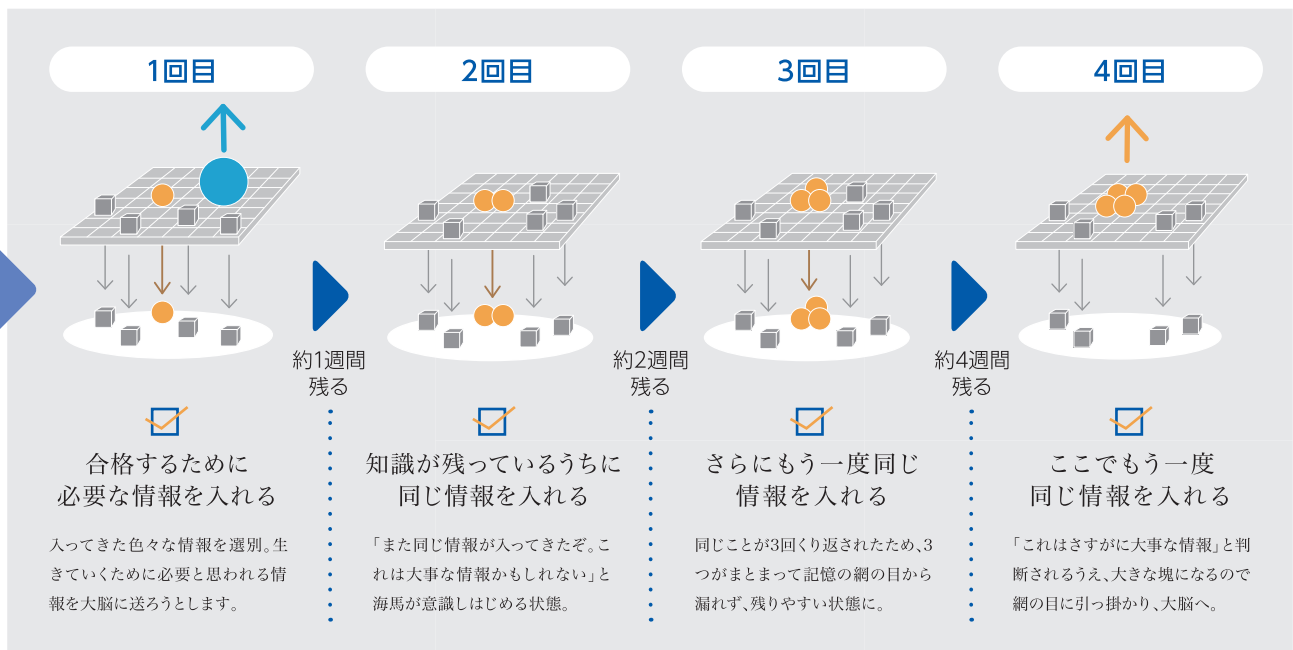
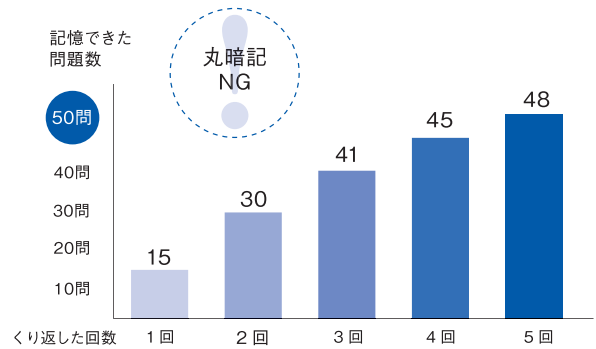
脳の仕組みを上手に利用している人が「頭の良い人」だ！

4回くり返し学習することがポイント！

くり返しと記憶の関係

(50問の問題をくり返し学習した場合)

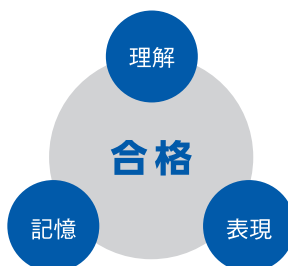
一度で覚えられないのは当たり前。「記憶力が悪い」わけではありません。記憶は、くり返し刷り込むことで定着します。くり返すことによって、誰でも覚えられることは増えていきます。



日建学院式 週間学習サイクル

1日2時間 自宅学習の習慣化！

1週間単位で確実に実行することが、合格の輪を大きくする。



一次

コースの特長

分析を尽くしたカリキュラムで
合格知識の定着を

自宅学習で基礎知識を高め、
講座では基礎講義→合格
講座→直前講座の流れで着
実に合格力を積み重ねます。
技術者必携の難関国家資格
に一発合格するために必要な
ことがフルスペックで揃った
濃密なカリキュラムです。

■ 一次コース

受講形態: 通学

学習期間: 受講開始から
約3カ月間

■ 一次Webコース

受講形態: Web

配信期間: 5月上旬から
本試験当日まで(9月上旬)

■ 一次直前コース

受講形態: 通学

※本講座実施校: 直営校、公認スクール

学習期間: 受講開始から
約1カ月間

■ 一次直前Webコース

受講形態: Web

配信期間: 7月下旬から
本試験当日まで(9月上旬)

📅 コースカリキュラム

5月上旬

入学・面接

【自宅学習用教材セット配付】

📄 面接・診断テスト

簡単な面接・診断テストで
基礎レベルを判定します。

🖋️ 基礎講義

【全5回】

- 一般基礎 (1回)
- 空調和設備 (1回)
- 給排水・衛生設備 (1回)
- 電気・建築設備 (1回)
- 施工管理・関連法規 (1回)

まずは体験版へ **Go!**

日建学院

検索

Click!

<https://www.ksknet.co.jp/nikken/guidance/check2/>

※Web受講を希望される方は、お申込みの前に必ず、「DEMO体験版」での動作確認をお願いします。

学習形態



通学型学習



Web



給 教育訓練給付金



助 人材開発支援助成金



教材配付:5月上旬より予定

※校により教材の配付方法は異なります。

学費:280,000円(税込308,000円)



教材配付:5月上旬より予定

※校により教材の配付方法は異なります。

学費:280,000円(税込308,000円)



教材配付:7月下旬より予定

学費:100,000円(税込110,000円)



教材配付:7月下旬より予定

学費:100,000円(税込110,000円)

6月

7月

8月

9月

 合格講座
[全16回]

- 一般基礎(3回)
- 空調調和設備(2回)
- 給排水・衛生設備(3回)
- 電気・建築(1回)
- 機器・材料(1回)
- 契約・施工管理(2回)
- 工事施工(2回)
- 法規(2回)

 直前講座
[全8回]

- 総仕上げ講義(4回)
- 模擬試験(2回)
- 直前講義(2回)

第一次
検
定
本
試
験

※カリキュラム・配信期間は法改正や試験分析により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。 ※各校により開講時期が異なります。詳細は最寄りの日建学院までお問い合わせください。

教育訓練給付金

働く人の主体的な能力開発の取組みを支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者(在職者)又は一般被保険者であった方(離職者)が、厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した場合、本人が教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定割合に相当する額(上限あり)をハローワーク(公共職業安定所)から支給します。

※教育訓練給付金をご利用の場合は、利用ガイドをご確認ください。

人材開発支援助成金 対象講座

中小建設事業主が雇用する建設労働者に有給で技能実習を受講させた場合、経費・賃金の一部を助成。(要件を満たす必要があります。)

【お問い合わせ】最寄りの都道府県労働局又はハローワークへ

※ご注意

令和6年4月1日以後に本助成金制度が改正された場合には、その改正内容に準じますことをご承知ください。

カリキュラム

一次

■ 一次コース ■ 一次Webコース

回数	講義(科目・回数)	時間数	テスト	宿題
基礎講義	◇ 特別研修会	30分	-	-
	1 一般基礎	90分	-	-
	2 空気調和設備	90分	-	-
	3 給排水・衛生設備	90分	-	-
	4 電気・建築設備	90分	-	-
	5 施工管理・関連法規	90分	-	-
合格講座	◇ オリエンテーション	60分	-	-
	1 一般基礎①	105分	1回	1・2回
	2 一般基礎②	105分	2回	
	3 一般基礎③	105分	3回	3・4回
	4 空気調和設備①	105分	4回	
	5 空気調和設備②	105分	5回	5・6回
	6 給排水・衛生設備①	105分	6回	
	7 給排水・衛生設備②	105分	7回	7・8回
	8 給排水・衛生設備③	105分	8回	
	9 電気・建築	105分	9回	9・10回
	10 機器・材料	105分	10回	
	11 契約・施工管理①	105分	11回	11・12回
	12 施工管理②	105分	12回	
	13 工事施工①	105分	13回	13・14回
	14 工事施工②	105分	14回	
	15 法規①	105分	15回	15・16回
16 法規②	105分	16回		
直前講座	1 総仕上げ講義①	105分	1回	1・2回
	2 総仕上げ講義②	105分	2回	
	3 総仕上げ講義③	105分	3回	3・4回
	4 総仕上げ講義④	105分	4回	
	5 模擬試験 問題A	150分	-	-
	6 模擬試験 問題B	120分	-	-
	7 直前講義①	105分	-	-
	8 直前講義②	105分	-	-
◆ 修了試験*	30分	-	-	
本試験	1級管工事施工管理技士 第一次検定本試験日			

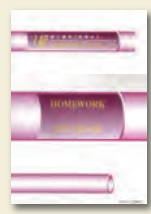
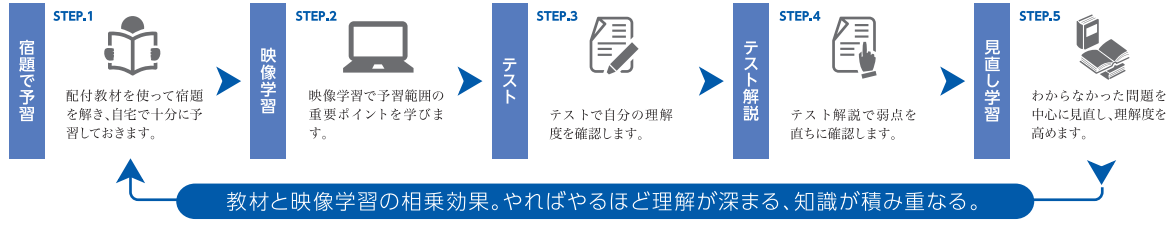
5月
6月
7月
8月
9月

■ 一次直前コース ■ 一次直前Webコース

回数	講義(科目・回数)	時間数	テスト	宿題
直前講座	1 総仕上げ講義①	105分	1回	1・2回
	2 総仕上げ講義②	105分	2回	
	3 総仕上げ講義③	105分	3回	3・4回
	4 総仕上げ講義④	105分	4回	
	5 模擬試験 問題A	150分	-	-
	6 模擬試験 問題B	120分	-	-
	7 直前講義①	105分	-	-
	8 直前講義②	105分	-	-
-	-	-	-	-
本試験	1級管工事施工管理技士 第一次検定本試験日			

*教育訓練給付金をご利用の方のみ

相乗効果を最大限に引き出す学習サイクル



自宅学習用教材セット

自宅学習用テキストには基本的なポイントがまとまっています。各回の最後にある「チャレンジ問題」は必ず実施してください。基本問題集は、受験に必要な基本ポイントをまとめた問題集。管工事施工管理用語集では、試験によく出る重要用語をイラスト付きで平易に解説しています。受験知識の土台作りに役立てください。

- 自宅学習用テキスト
- 基本問題集
- 用語集



宿題

合格講座・直前講座において受講前に行う予習用の教材。講義のポイントを事前にインプットするための課題ですので、宿題は受講前に必ず学習してください。



テスト

宿題や講義で学んだポイントの定着度合いを測るアウトプット教材。テストの結果は、自己管理ノートに記録して進捗具合をチェックし、学習度合いの客観視や弱点把握などに役立ちます。

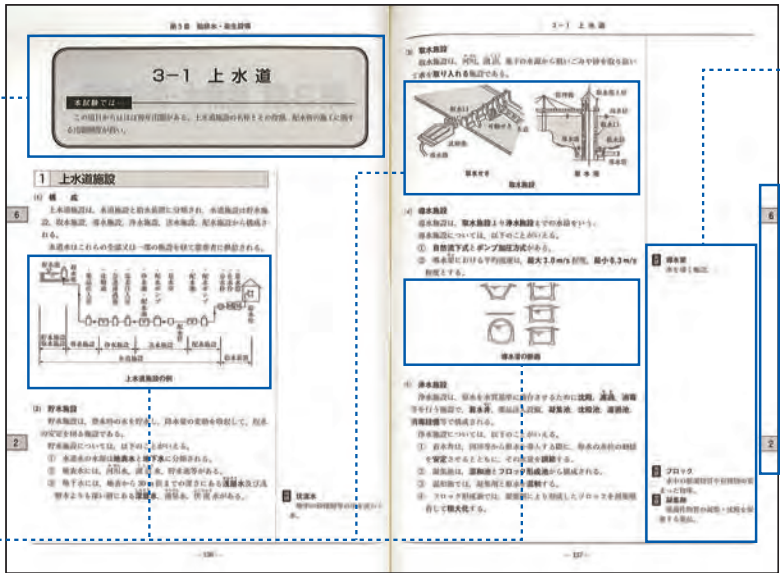
出題傾向を徹底分析、わかりやすい「オリジナルテキスト」

日建学院のテキストは、試験を熟知した講師陣が試験の出題内容を分析し、見やすさや使いやすさに配慮して編集しています。重要項目をわかりやすく解説していますので、復習でさらに理解度を高めることができます。

理解しやすい

各章の始めに本試験の出題傾向と学習のポイントを明記

図や写真が多く理解しやすい



「解説解説」と「関連アドバイス」が丁寧で見やすい

インデックスにより講義範囲が一目でわかるので、予習で宿題を行う際や復習でテストの見直しをする時に便利

用語
重要な用語には、解説と表や図解を掲載

補足
理解を深めるために必要な事項を表示

参考
学習の手がかりを掲載

ORIGINAL TEXT 一次対策テキスト

試験に合格することを第一の目的に過去の試験問題を徹底的に分析し、最も効率よく理解・記憶ができるように編集したテキストです。



ORIGINAL TEXT 一次対策問題集

問題集は、問題と解答解説で一頁の構成になっているため、頁をめくることなく解答のチェックができ、各問題がその場で理解できます。また、出題科目ごとにまとめてありますので、弱点部分の補強にも大変便利な構成になっています。



※教材写真は過年度のものです。

万全の サポートシステム

合格までの道のりを支えきる。

そのために、学習面のサポートはもちろんのこと、
厳しい受験期間に遭遇するさまざまな迷いや不安にも、
共に立ち向かいます。二人三脚で歩む担当パートナー。
急な出張や転勤にも即対応する日建学院のネットワーク。
学習を続けやすい、効果が出せるサポート体制です。

何でも相談、
合格まで二人三脚で親身にサポート

ライセンスアドバイザー

受講生一人ひとりに担当者がつき、入学から本試験まで、さまざまなサポートをします。出欠や成績の管理、学習面のアドバイスからメンタル面の悩みまで親身に対応。まさに二人三脚で、合格までの道のりを共に歩みます。



万が一の欠席も心配なし、
忙しい社会人をフォロー

欠席フォローシステム

仕事などの都合や諸事情で欠席しても、規定の回数までは欠席分の講義を個別学習ルームで受講可能(予約制)。学習の遅れを取り戻すことができます。忙しい社会生活の中で合格を目指す受講生を、万全の体制で支えます。



全国一斉、同一講義だから、
出張や転勤時も安心

聴講サポート

出張などで、いつもの通学校で受講できない場合も安心です。事前に予約すれば、全国の主要校の教室で聴講することが可能。全国どこの教室でも同一講義を行っているので、学習進度が異なる心配もありません。



個別ブースで
あなただけの学習環境を

補習や自習にも使える個別ブース

日建学院の個別ブースは全席パソコン設置です。周囲を気にせず自分のペースで補習や自習ができます。(予約制)



疑問や不明点は
メールでその都度解決

質問対応システム

講義や自宅学習、テキストやテストなどで疑問や不明点を感じたら、質問対応システムを活用。専門メール対応なので気軽に質問できます。わからない点は放置せず、早めに解決することが合格への近道です。



合格者インタビュー

自分の仕事の幅を広げたいと受けた試験。
合格してから任される仕事が増えただけでなく、
自信にもつながった。



井上 大徳 Tomonari Inoue

勤務先の業種 冷媒配管工事

取得資格 1級管工事施工管理技士

Q.学習方法について

基本的には復習と予習をくり返し行いました。不明瞭な部分はとにかく無くしていくようにして、あとはひたすら過去問を何度も解いていました。繁忙期で予習復習ができずに講義を受けたこともありましたが、やはり頭に入りにくかったので、毎日の予習復習の重要性を感じ反復練習を怠らないように努力しました。

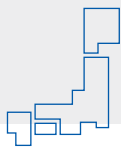
Q.なぜ日建学院を選んだか？

独学では難しいと社長から日建学院を薦められ、仕事面でも受講する時間を確保してもらえるとのことだったので選びました。日建学院のテキストはわかりやすく覚えたい所や知りたい所をすぐに確認することができ、映像講義もイメージしやすいと感じました。宿題の存在も大きく、週ごとに目標ができ、机に向かう良いきっかけにもなりました。

Q.試験に合格して変わったことは？

合格してから任せてもらえる仕事が増えました。また、試験勉強を通してより安全面への意識や責任感が増したと思います。勉強した時間の分だけ知識が身につき、これまでよりも自分の仕事に自信を持てるようになりました。





全国に広がる日建学院のネットワーク

※2023年01月29日現在

日建学院 本校教室一覧

北海道・東北地区

- 札幌 ☎ 011-251-6010
- 苫小牧 ☎ 011-251-6010
- 旭川 ☎ 0166-22-0201
- 青森 ☎ 017-774-5001
- 弘前 ☎ 0172-29-2561
- 八戸 ☎ 0178-70-7500
- 盛岡 ☎ 019-659-3900
- 水沢 ☎ 0197-22-4551
- 仙台 ☎ 022-267-5001
- 秋田 ☎ 018-801-7070
- 山形 ☎ 023-622-5100
- 酒田 ☎ 0234-26-3351
- 郡山 ☎ 024-941-1111

北陸地区

- 新潟 ☎ 025-245-5001
- 長岡 ☎ 0258-25-8001
- 上越 ☎ 025-525-4885
- 富山 ☎ 076-433-2002
- 金沢 ☎ 076-280-6001
- KIT前教室 ☎ 076-293-0821
- 福井 ☎ 0776-21-5001

関東地区

- 水戸 ☎ 029-305-5433
- つくば ☎ 029-863-5015
- 宇都宮 ☎ 028-637-5001
- 小山 ☎ 0285-31-4331
- 群馬 ☎ 027-330-2611
- 太田 ☎ 0276-58-2570
- 大宮 ☎ 048-648-5555
- 川口 ☎ 048-499-5001
- 川越 ☎ 049-243-3611
- 所沢 ☎ 04-2991-3759
- 朝霞台 ☎ 048-470-5501
- 南越谷 ☎ 048-986-2700
- 熊谷 ☎ 048-525-1806
- 千葉 ☎ 043-244-0121
- 船橋 ☎ 047-422-7501
- 成田 ☎ 0476-22-8011
- 木更津 ☎ 0438-80-7766
- 柏 ☎ 04-7165-1929
- 新松戸 ☎ 047-348-6111
- 浦安 ☎ 047-397-6780
- 池袋 ☎ 03-3971-1101
- 新宿 ☎ 03-6894-5800
- 上野 ☎ 03-5818-0731
- 新橋 ☎ 03-6858-4650
- 吉祥寺 ☎ 0422-28-5001
- 立川 ☎ 042-527-3291
- 八王子 ☎ 042-628-7101

- 北千住 ☎ 03-6850-0120
- 町田 ☎ 042-728-6411
- 武蔵小杉 ☎ 044-733-2323
- 横浜 ☎ 045-440-1250
- 厚木 ☎ 046-224-5001
- 藤沢 ☎ 0466-29-6470
- 山梨 ☎ 055-263-5100
- 長野 ☎ 026-244-4333
- 松本 ☎ 0263-41-0044

東海地区

- 静岡 ☎ 054-654-5091
- 浜松 ☎ 053-546-1077
- 沼津 ☎ 055-954-3100
- 富士 ☎ 0545-66-0951
- 名古屋 ☎ 052-856-0631
- 北愛知 ☎ 0568-75-2789
- 岡崎 ☎ 0564-28-3811
- 豊橋 ☎ 0532-57-5113
- 岐阜 ☎ 058-216-5300
- 四日市 ☎ 059-349-0005
- 津 ☎ 059-291-6030

近畿地区

- 京都 ☎ 075-221-5911
- 福知山 ☎ 0773-23-9121
- 滋賀 ☎ 077-561-4351
- 梅田 ☎ 06-6377-1055
- なんば ☎ 06-4708-0445
- 枚方 ☎ 072-843-1250
- 堺 ☎ 072-228-6728
- 岸和田 ☎ 072-436-1510
- 橿原 ☎ 0744-28-5600
- 奈良 ☎ 0742-34-8771
- 神戸 ☎ 078-230-8331
- 姫路 ☎ 079-281-5001
- 和歌山 ☎ 073-473-5551
- 田辺 ☎ 0739-22-6665

中国地区

- 岡山 ☎ 086-223-8860
- 倉敷 ☎ 086-435-0150
- 広島 ☎ 084-926-0570
- 広島 ☎ 082-223-2751
- 岩国 ☎ 0827-22-3740
- 山口 ☎ 083-972-5001
- 徳山 ☎ 0834-31-4339
- 松江 ☎ 0852-27-3618
- 鳥取 ☎ 0857-27-1987
- 米子 ☎ 0859-33-7519

四国地区

- 松山 ☎ 089-924-6777
- 西条 ☎ 0897-55-6770
- 高松 ☎ 087-869-4661
- 高知 ☎ 088-821-6165
- 徳島 ☎ 088-622-5110

九州地区

- 北九州 ☎ 093-512-7100
- 天神 ☎ 092-762-3170
- 博多 ☎ 092-233-1156
- 久留米 ☎ 0942-33-9164
- 大牟田教室 ☎ 0944-32-8915
- 佐賀 ☎ 0952-31-5001
- 長崎 ☎ 095-820-5100
- 佐世保 ☎ 0956-88-2060
- 大分 ☎ 097-546-0521
- 中津 ☎ 0979-25-0002
- 熊本 ☎ 096-241-8880
- 宮崎 ☎ 0985-50-0034
- 延岡 ☎ 0982-34-7183
- 都城 ☎ 0986-88-4001
- 鹿児島 ☎ 099-808-2500
- 沖縄 ☎ 098-861-6006
- うるま ☎ 098-916-7430
- 名護 ☎ 0980-50-9115

講座一覧

※認定校及び公認スクールでは取扱講座が異なりますので、詳しくは最寄り校へご確認ください。

建築関連講座

- 1級建築士学科・設計製図
- 2級建築士学科・設計製図
- インテリアコーディネーター(一次・二次試験)
- 建築設備士
- 構造設計1級建築士

不動産関連講座

- 宅地建物取引士
- 賃貸不動産経営管理士
- 管理業務主任者
- 土地家屋調査士
- 測量士補

建設関連講座

- 1級建築施工管理技士
- 2級建築施工管理技士
- 1級土木施工管理技士
- 2級土木施工管理技士
- 1級管工事施工管理技士
- 2級管工事施工管理技士
- 1級造園施工管理技士
- 2級造園施工管理技士
- 給水装置工事主任技術者
- 第三種電気主任技術者試験過去問題
- 1級エクステリアプランナー
- 2級エクステリアプランナー
- コンクリート主任技士
- コンクリート技士
- CPDS認定

税務・ビジネス・介護・福祉関連講座

- 2級ファイナンシャルプランナー(AFP)
- 3級ファイナンシャルプランナー
- 日商簿記2級
- 日商簿記3級
- 秘書検定3級・2級・準1級筆記試験対策Web
- 2級建設業経理士Web
- 福祉環境コーディネーター2級
- 介護福祉士

就職・スキルアップ関連講座

- JW-CAD
- Auto-CAD
- DRA-CAD
- 建築CAD検定試験2級試験対策Web
- 建築CAD検定試験3級試験対策Web
- 初心者のためのOffice入門Web
- SPI試験対策
- 中国語能力初級/中級

実務関連講座

- 構造計算関連

職業訓練

- 介護職員初任者研修
- 介護福祉士実務者研修 通学

法定講習一覧

(株)日建学院 実施

- 建築士定期講習
- 宅建登録講習
- 宅建実務講習
- 監理技術者講習
- 評価員講習会
- 第一種電気工事士定期講習

日建学院 認定校 日建学院 認定校 日建学院 公認スクール 日建学院 公認スクール

受講者の生活スタイルは様々です。できることならば通学時間は短いほうがいい。そんな思いで「日建学院認定校」と「日建学院公認スクール」を全国に開校しています。「日建学院認定校」では建築士と土木施工管理技士を中心に運営、「日建学院公認スクール」でも多くの講座を運営しています。提供される講座は、本校と同じカリキュラム、同じ教材でクオリティの高い授業が提供されます。日建学院ホームページの全国学校案内からあなたの近くの日建学院をお探しください。

お問合せ・資料請求・試験情報

日建学院コールセンター ☎ 0120-243-229

株式会社建築資料研究社 東京都豊島区池袋2-50-1 受付/AM10:00~PM5:00(土・祝日は除きます)

最寄り校